



相手の意見と
自分の意見が
ちがったとき

こんなとき、あなたは どうしますか



理由も分からず
に友達がおこっ
ているとき



けんかの後、
友達があやまっ
てきたとき

周りの人たちと、もっと仲良くするために

おたがいのことを理解するにはどうすればよいのかな

友達に言われた一言にとてもきずついた。

そんなつもりで言ったわけではないのに、
自分の一言が友達をきずつけてしまった。

こんなすれちがいの経験はないかな。

このままではいけないよね。

どうすればよいのだろう。



自分の考えを言ってみよう。相手の考えを聞いてみよう あなただっただらどうしますか

学級会で、来月クラス対こうで行うスポーツ大会の種目について、何を行いたいか、クラスの意見をまとめるため話し合っています。

●サッカーが得意なけいすけくん

体育でミニサッカーをして楽しかったので、サッカーがいいと思います。

●走るのが得意なよしひでくん

みんなが楽しめるように全員リレーがいいです。

(けいすけくん)

全員リレーは待っている時間が長いから、あきちやうよ。

(よしひでくん)

サッカーは、上手な人しかボールにさわれないからつまらないよ。

なかなか種目が決まりません。学級会の時間が少なくなってきました。



意見をまとめるにはどうしたらよいだろう

けいすけくんとよしひでくんになって話し合いをしてみましょう。

① 役割を決める

けいすけ (サッカーをやりたい)

よしひで (リレーをやりたい)

② 話し合い

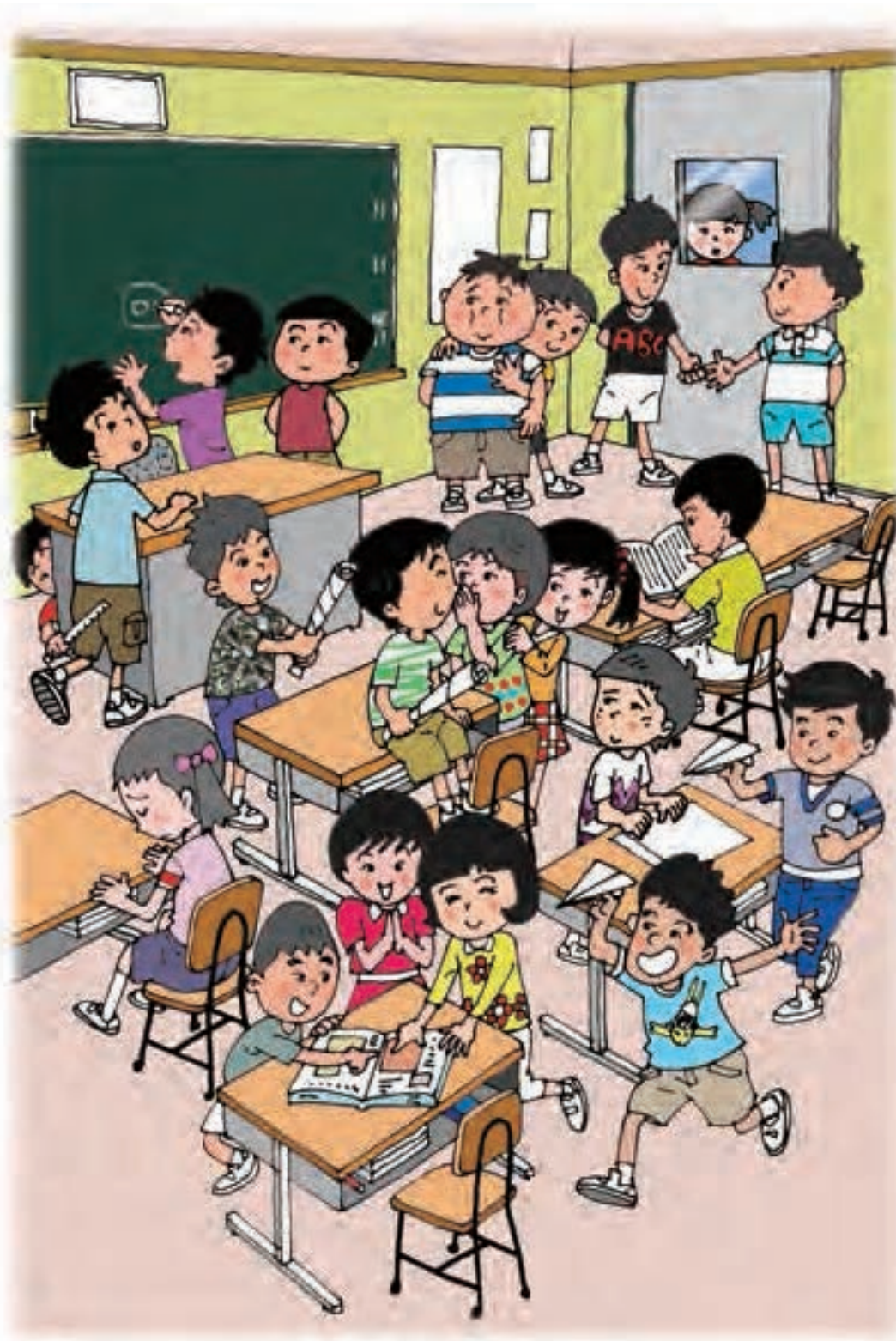
③ 役を交代して話し合い

④ えんぎをした感想の話し合い

意見をまとめるために大切なのはどんなことでしょう

相手の話を聞くときに大切なこと

自分の考えを話すときに大切なこと



見すごしていませんか、こんな場面ばめん

だれたいに対しても同じ態度たいどで
あの子はよくて、この子はだめ。
よくないこととは知りつつ、
人によって態度を変かえてしまうことは
ありませんか。
だれに対しても分けへだてのない
同じ態度をとるには、
ちよっとした勇氣ゆうきが必要ひつようなときもあります。
態度のちがいによって悲かなしんでいる人は
いませんか。

分けへだてをしない



こんなことを言われたら	何て言う・どうする
<p>〇〇さんに、「△△さんはわたしの友達だから、仲良くしないでほしい」と言われました。</p>	
<p>ぼくはいつも●●君にからかわれています。●●君は先生にそのことを注意されましたが、その時「先生、ぼくたちはただ二人でふざけ合っただけです。なあ××君。」と言いました。心の中ではからかうのをやめてほしいと思っています。</p>	

- なぜそう思うのか理由も考えてみよう。
- どんな言い方をすればいいのか、友達と一しょに考えてみよう。

こんなことを言われたら	何て言う・どうする
<p>放課後、みんなでサッカーの試合をする約束をしています。 ××君に、「●●君がいると負けてしまうから、●●君をさそうのはやめよう。だから内しよでやろう。」と言われました。</p>	
<p>■■君をみんなが無視しています。 「××君も、■■君を無視しようよ。みんなしているから、いいじゃない。」と言われました。</p>	

こんなとき、どうしたらよいか



なぜいけないの

こんなことはありませんか。なぜいけないのか、話し合ってみよう。



自分よりも弱い人に
いじわるをしてしまう。

みんなとちがうから、
いじわるをしてしまう。



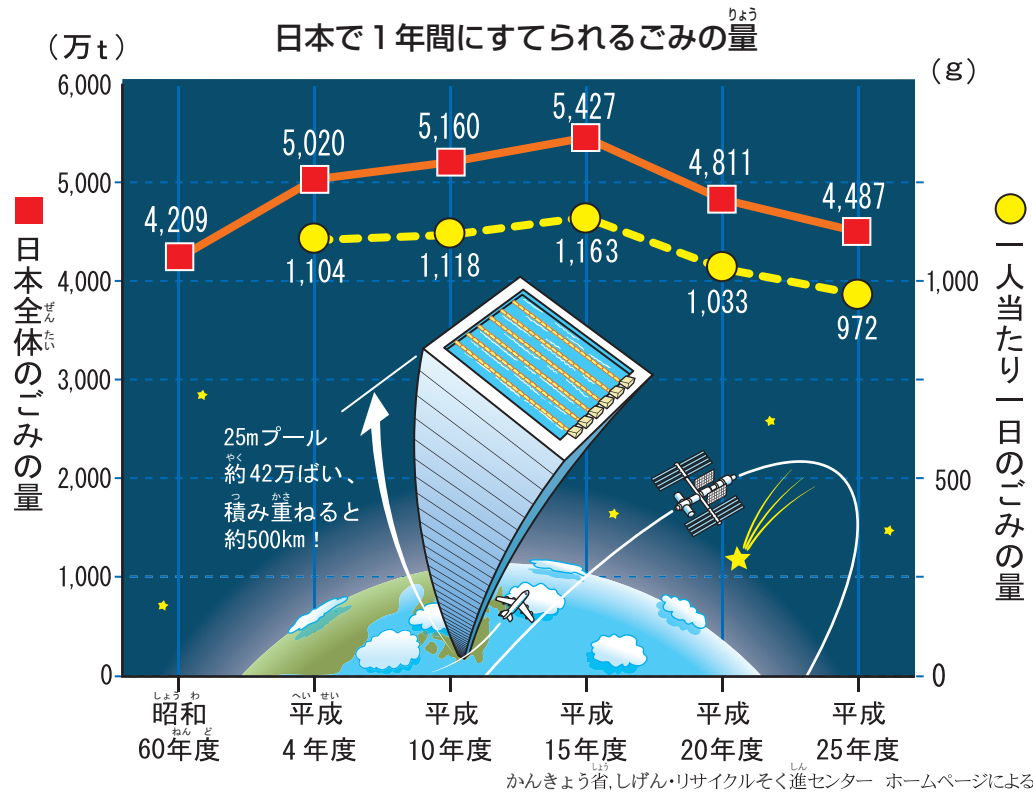
自分がやられるのがいやだから、
いじわるをしてしまう。



分けへだてをしないためにどんなことに気をつければよいだろう

三年

四年



わたしたちは、さまざまな資源を利用して生活をしています。

そして、毎日、たくさんの物を作って、同時に、たくさんの物をゴミとしてすてています。

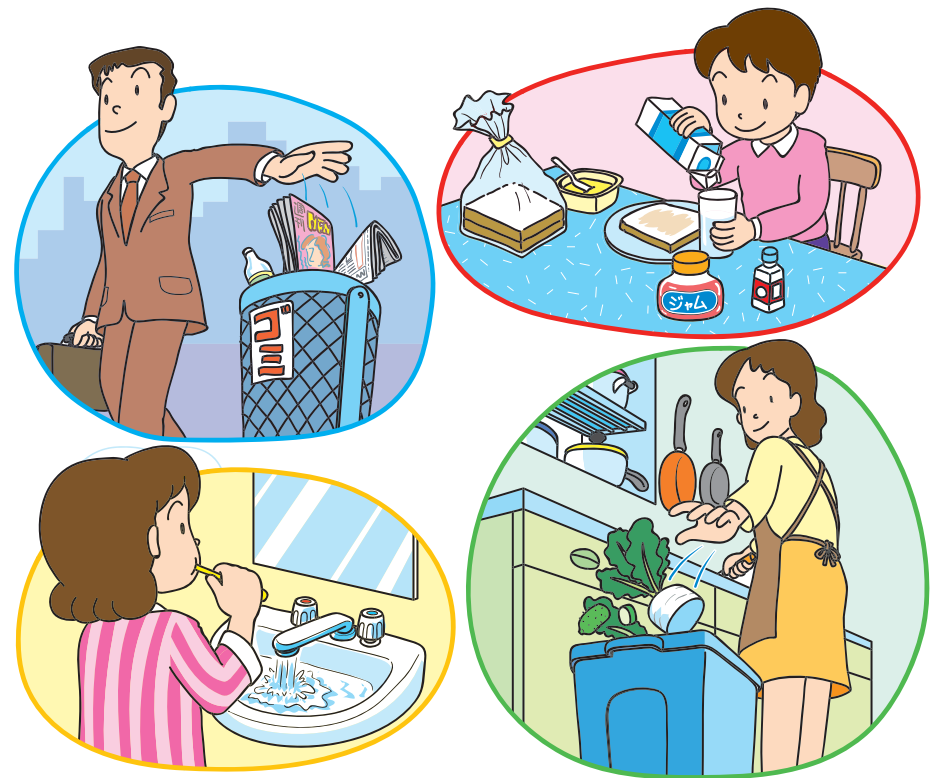
それは当たり前のことなのでしょう。資源にはかぎりがあります。しよ分場もかぎられています。

わたしたちはこのような生活を続けていよいのでしょうか。

「自分だけならだいじょうぶ。」そんな気持ちはないでしょうか。

ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

わたしたちがつくる、地球にやさしい生活





「3R」という考え方があり、資源を大切にすることがあります

3Rの視点から学校生活を見つめ直してみよう。

ごみ清そう員の立場から

ごみは、その種類によって分別し、もやしたり、再利用したり、再利用したりしています。一方で、分別が不十分だと、再利用、再利用できるはずのごみはもやされ、しよ分場にもめ立てられることとなります。とてももったいないです。

ごみの中には、まだ使える物もあります。また、うめ立て地はかぎられていますし、ごみしよ理にはたくさんのお金がかかっていることもわすれてはなりません。

ごみと一言で言ってもいろいろな物があるので、すてたら終わりではなく、すてた後のことも考えてほしいと思います。

生産者の立場から

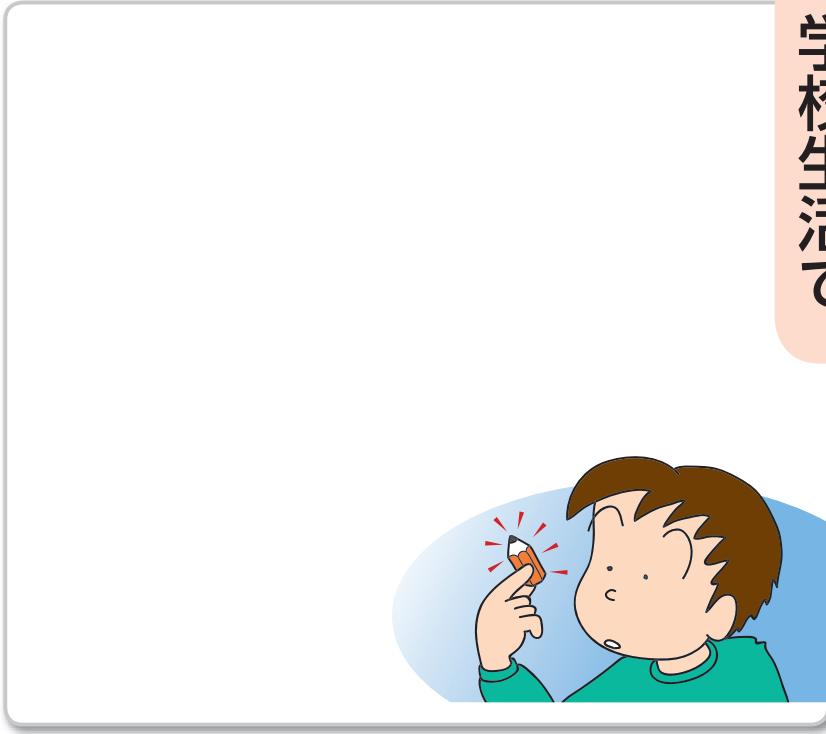
農作物は、しゅうかくまで一年以上かかる物があります。しかし、田んぼや畑の世話には休みがありません。水をあげ、肥料をあげ、毎日毎日気にかけてながら、一年以上も育てていくのです。

一生けん命育てた農作物も、いざしゅうかくという段階になって、台風などでしゅうかくができなくなってしまう年もあります。大変悲しいことです。

苦勞をして大切に育てた物なので、たくさんの人においしく食べてもらいたいです。

わたしたちになにができることさながそう

学校生活で



家で



地いきで



自分たちで考えた、わたしたちになにができることを、実際にやってみて、どう思いましたか。友達ともだちの考えも聞いてみよう。

道徳の時間に話し合ったこと、考えたことの中で心に残ったことを書きとめておきましょう。
家の人からもメッセージをもらいましょう。

月 日

家の人からのメッセージ

月 日

家の人からのメッセージ

月 日

家の人からのメッセージ

月 日

家の人からのメッセージ

月 日

家の人からのメッセージ

月 日

家の人からのメッセージ

ページ	タイトル等	原作者等	出典・参考文献等
25	夢は見るものではなく、かなえるもの	澤 穂希	『なでしこキャプテン! 夢は見るものではなく、かなえるもの』集英社みらい文庫
26	きっとできる		高橋尚子『風になった日』幻冬舎 黒井克行『高橋尚子 夢はきっとかなう』学研教育出版
34	よわむし太郎	荒木徳也	『小学校 道徳の指導資料とその利用1』文部省
42	六セント半のおつりーリンカーンの話ー	大川悦生	実業之日本社編『子どもに聞かせるえらい人の話』実業之日本社
48	人生の先ばいに学ぼう		押谷由夫監修『心に響くあの人のことば』③、⑤、第2期③学研教育出版
71	友達づくりのひけつを漢字から学ぼう		『新レインボー小学漢字辞典改訂第四版』学研教育出版
73	友達の大切さを感じて(標語)		北九州市「人権週間標語」入選作品
76	同じ仲間だから	和田美生子	『小学校 道徳の指導資料とその利用6』文部省
94	命あるかぎり生きる		すずらんの会編『電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ』角川文庫 宮本雅史『「電池が切れるまで」の仲間たち 子ども病院物語』角川文庫
96	ヒキガエルとロバ	徳満哲夫	『小学校 読み物資料とその利用「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」』文部省
110	花さき山		『花さき山』岩崎書店
112	富士と北斎	那須辰造	日本児童文学者協会編『愛の学校四年生』岩崎書店
124	雨のバス停留所で	成田國英	『小学校 道徳の指導資料とその利用2』文部省
135	働くすがたが、かがやいている人たち(井深大)		編集協力©ソニー株式会社
140	家族がいっしょにいられること	村山 倅	平成23年度 内閣府「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」入賞作品
142	ブラッドレーのせい求書	上村哲弥訳	『子供研究講座第九巻』先進社
146	共に助け合って生きる		河野淳子『盲導犬と共に生きて』(『感動ストーリーズ 共に生きる』学習研究社)をもとに編集
165	お雑煮		『全国から集めた伝統の味 お雑煮100選』女子栄養大学出版部

わたしにはある

今よりもっとよくなりたいう心が

みんなのことを思いやる温かい心が

どんなことにもくじけずに

がんばりたいという心が

そんなわたしの心を

たしかめてみたい

のばしていききたい



どう とく
わたしたちの **道徳** 小学校 3・4年

発行 文部科学省
〒100-8959
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

表紙 K-suke
デザイン 株式会社 明昌堂
イラスト 池田げんえい、石橋富士子、クリエイティブ・ノア (吉田健二)、栗原徹、黒木ひとみ、©滝平二郎事務所、立岡正聡、田中友子、水野ぶりん、宮古哲
写真 アフロ、アマナイメーجز、糸魚川市歴史民俗資料館、学研写真資料センター、郡司ななえ、小泉八雲記念館、高知県立牧野植物園、産経新聞社、ジャパン・アーツ、石川啄木記念館、手塚プロダクション、東京コンサーツ、富田真光 (vale.)、藤田雄二、PIXTA

保護者の方へ

- この本は、子供たちが人として心豊かに生きていくことができるようになることを願って、作成したものです。
- 学校では、道徳の時間やその他の学習活動を通じて活用します。
- 御家庭でも、この本を開いて、一緒に考えたり話し合ったりして、子供たちの豊かな心の成長に役立ててくださいますようお願いいたします。

日本音楽著作権協会(出)許諾第1401422-504